

第1回大分市教育ビジョン検討委員会 会議要旨

日時：平成28年5月31日（火）15:00～17:00

場所：大分市教育センター 研修室202

○出席者15名、欠席者なし

《委嘱状及び辞令交付》

- ・秦教育監から委嘱状及び辞令を交付する。

《第1回大分市教育ビジョン検討委員会》

1. 開会

2. 教育委員会代表あいさつ

秦教育監から開会に当たってのあいさつ。

3. 検討委員自己紹介

4. 教育委員会事務局紹介

5. 会長・副会長選出

大分市教育ビジョン検討委員会設置要綱第5条第1項の規定により、会長に伊藤委員、副会長に荒金委員が選出される。

6. 会長、副会長あいさつ

伊藤会長、荒金副会長あいさつ。

7. 議事

(1) 検討委員会の役割とスケジュールについて

資料の3ページから4ページを基に、事務局から検討委員会の役割とスケジュール等について説明する。

(説明内容の概要)

- 検討委員会は、大分市教育ビジョンの策定に当たり、本市教育の振興に関する内容等について、様々な観点から検討を行い、その結果を教育長に報告するなどの役割を担う。
- 検討委員会は、教育長への報告を予定している平成29年2月までの間、6回の開催を予定。そのうち5月、7月、8月、10月に、策定の方向性や基本構想、基本計画、具体的施策に係る指標等について検討を行い、11月には中間報告、2月には最終報告を行う。中間報告から最終報告までの間にパブリックコメントを実施予定。

<主な意見・質問等>

【委員】パブリックコメントはどのような方法で実施する予定か。

【事務局】大分市総合計画策定の際に実施したように、市のホームページ等でお知らせをしてメールや用紙でご意見をいただく方法を考えている。

【委員】検討委員会の進捗状況によっては、臨時的検討委員会等が開催される可能性があるか。

【事務局】進捗状況によっては日程が下がる可能性もあることから、場合によっては予備日を設定することもあり得る。

(2) 「大分市総合計画」及び「大分市教育大綱」の概要について

資料の5ページから6ページ並びに別添資料を基に、事務局から大分市総合計画及び大分市教育大綱の概要について説明する。

(説明内容の概要)

○大分市総合計画は本市がめざすまちづくりを総合的かつ計画的に定めた最上位計画。計画期間は平成28年度から平成36年度までの9年間で、基本構想と基本計画の2部構成となっている。基本計画はさらに第Ⅰ期(4年間)と第Ⅱ期(5年間)に分かれている。

○大分市教育大綱は本市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、目標や施策の根本となる方針を定めたもので、計画期間は平成28年度から平成31年度までの4年間。市長が「総合教育会議」の場において教育委員会との協議により定めた。

<主な意見・質問等>

【委員】教育大綱の計画期間が4年間となっているのは、総合計画の第Ⅰ期に合わせたものか。

【事務局】市長の任期が4年であることや国の想定している4年から5年程度といった期間に合わせて4年間としている。

(3) 「大分市教育ビジョン」の概要について

資料の7ページから15ページ並びに別添資料を基に、事務局から大分市教育ビジョンの概要について説明する。

(説明内容の概要)

○平成20年度に策定した現行の「大分市教育ビジョン」は、平成28年度までの計画であることから、本市教育の一層の振興を図るためこれまでの計画を見直し、新たな大分市教育ビジョンを策定する。策定時期は平成29年2月頃を予定している。

○最上位計画である大分市総合計画の基本理念の実現を教育の分野から目指すものとして位置付け、大分市教育大綱の趣旨を反映させたものとする。また、教育委員会が所管する施策や事業を対象とする。

○計画期間は平成36年度までの8年間とし、構成は基本構想と基本計画の2部構成とする。基本計画は平成29年度から平成31年度までの3年間で第Ⅰ期とし、平成32年度から平成36年度までの5年間で第Ⅱ期とする。

- 基本理念は「豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむ」とし、施策の体系は大分市総合計画を踏まえるとともに、大分市教育大綱との関連を図って設定する。
- 次回の検討委員会から、施策ごとの具体的な取組や、その取組に係る指標などについて事務局が提案し、その提案に対し委員に検討していただく。

<主な意見・質問等>

- 【委員】これまで色々な事業を実施するようになってきたことで学校の先生の負担が増えている。今後、さらに取組を充実させていくと学校の先生がますます大変になることが想像できる。教育ビジョンを検討していく中で、地域の方や保護者が担うべき部分については分担させるといった方向性や仕組み等ができると思う。
- 【委員】次回の検討委員会から、施策の目標となる指標を設定していくことになるが、事業の実施に当たっては、単にその指標の達成だけを目的とせず、幅広く考えていくという視点を持って欲しい。
- 【委員】具体的な取組の数が100を超えるようだが、数が多すぎるので重点的に取り組む所を明確にしていく必要があると思う。
- 【委員】先日、熊本・大分地震があった時に、子どもたちが外で遊ぶことが子どもたちの心のケアになったという話があった。体を動かすことはスポーツに限らず、日常生活の中でも大事なことで、そういった観点から具体的施策を見ると、「防災教育の推進に努めます」と1項目挙げられているだけでは「生きる力をはぐくむ」というには少し物足りないもので、心のはぐくみや食事の大切さ、健康維持などについてももう少しポイントを当てたものができると思う。
- 【事務局】今回いただいた意見等を踏まえ、次回以降の検討委員会で提案してまいりたい。また、提案する中で、委員のみなさんに相談や協力をお願いすることもあると思う。
- 【委員】重点施策の表記や表現といった大枠の部分についても意見を出して良いか。
- 【事務局】計画の構成の骨格となる部分なので、大分市総合計画等との整合性を図るうえから、資料に示したような設定としている。

8. その他

事務局から次回の日程について説明する。

○第2回大分市教育ビジョン検討委員会は7月19日（火）の15：00から大分市教育センター研修室202で開催。

9. 閉会